

SHIN CLUB 195

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

「フレッドペリーショップ東京」 撮影 : Stirling Elmendorf

DNA

写真は、この春神宮前にオープンした、アパレルブランド、「フレッドペリー」の旗艦店です。月桂樹のマークのポロシャツでおなじみですね。今月はその有名なブランドのお話です。

【Brand History】

世界 4 大大会の全てを制し「グランドスラマー」と呼ばれた偉大なテニスプレイヤー／フレデリック・ジョン・ペリー。彼は引退後、当時あまり優れているとはいえなかったリストバンドの開発を、自身の愛称だったフレッドペリーを冠してスタートさせます。1952 年にはフレッドペリー・スポーツウェア社を創設。ウィンブルドンの正式許可を得て胸にローレルマークを付けたポロシャツの製造を開始しました。

Why your shirt was better than anyone else' s?
あなたのシャツは、他のシャツよりどの点が優れているのですか？
Ma' am, it' s the shirt that fits.
女王さま、このシャツはフィットするのです

これはウィンブルドンに来賓として招かれた、かのエリザベス女王とフレデリック・ジョン・ペリーの会話です。ルーズなシルエットが溢れていた当時、フレッドペリーの体にフィットするシャツは女王陛下が話題にするほど英国で浸透していました。

1960 年代、ロンドンはカーナビーストリートから、当時ファッションカルチャーの最先端であり世界中に影響を与えたモッズが登場します。夜通しクラブで踊り明かす彼らのライフスタイルにもフレッドペリーのシャツがフィットしました。これを期にフレッドペリーは単なるスポーツ

ブランドではなくファッションとクロスオーバーした世界的にも類を見ないユニークなブランドイメージを確立していきます。

2000 年に入り、ヴィンテージファッションの復権からフレッドペリーのシャツに再び注目が集まります。1957 年に開発され、襟と袖に二本ラインを配したデザインの元祖「M12」をコアアイテムとしてトータルファッションブランドに成長。M12 は英国製であることに今尚こだわり続けています。さらに英国のアイコン的ミュージシャン／ポール・ウェラーに始まり、コム デ ギャルソンやラフ シモンズなどのデザイナーズブランドとのコラボレーションも話題となりました。

2012 年にはブランド生誕 60 周年を迎え、常に進化し続けています。そのスタイルは勝ち誇ることなく挑戦的に。もっともな理由があって反動的に。

【 End 】

【Basic Data】

- Brand Name : Fred Perry / フレッドペリー
- Country : U.K. / イギリス
- The Foundation Year : 1952 / 1952 年

ブランドの DNA を、建物に的確に反映させるために、今回のプロジェクトチームは、「Do' s and Don' ts」、つまり「そうであること」と「そうではないこと」を細かく分析されていました。

振り返れば、私たちは、何が自分らしくて、自分らしくないか、結構あいまいになまま、日々を送っている気がします。自分がすべきこと、してはいけないこと、改めてチェックしてみませんか。

フレッドペリーショップ東京 (フレッドペリー旗艦店)

確固たる DNA を持つブランドの新たなフラッグショップ

表参道から裏原宿へ連なる静かな住宅街の路地に、レンガ造りの工場のような建物が建ち上がった。英国のアパレルブランド、フレッドペリーが東京にオープンさせた世界最大の旗艦店である。多くのブリティッシュサブカルチャーが古い工場や倉庫の跡地から生まれたように、この建物も内部は大きなつながりの空間で、のびやかなスケール感を大事にしている。のこぎり型の屋根から、北向きの光が差し込み、明るい室内を作り出している。

昔から UK のクラブカルチャーと結びつき、ポール・ウェラーなど有名ミュージシャンたちに愛されている「フレッドペリー」。その DNA を形にするため、社長を中心とするプロジェクトチームが生まれ、「Do's」と「Don't's」、つまり、「そうである」と「そうでない」ことをチームと確認、共有して建物のディレクションを決定していった。

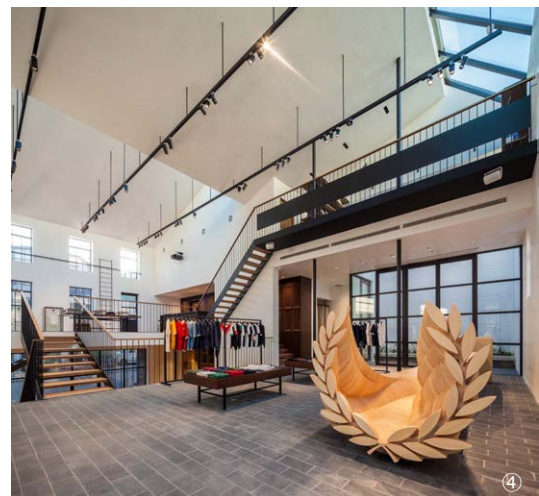
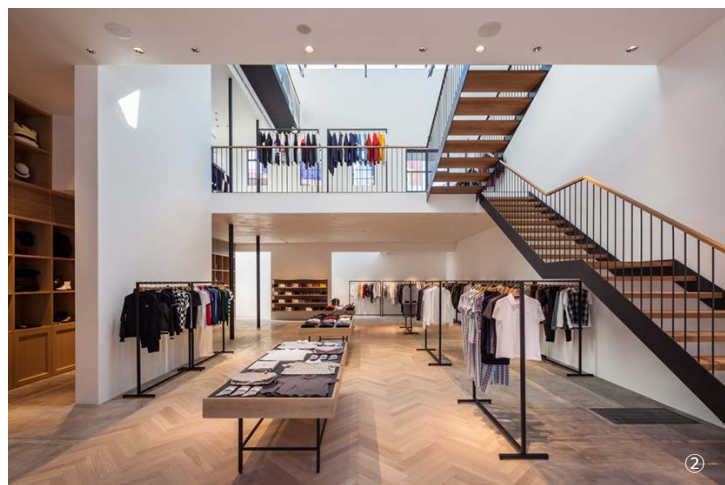
例えば、「British / 英国的」という項目では、レンガや漆喰、木などの素材は「Do」であり、ゴージャス、あるいはユニオンジャックなどは「Don't」である。歴史のあるブランドなので、経年変化を大事にしているが、やりすぎるエイジング加工や模倣は安易、と避けている。

レベル差のある2方向に入口を設け、内部は吹き抜けを囲むように各フロアを階段でつなぎ、一つの大きな空間でありながら、マテリアルなどでそれぞれのフロアの色を出している。中2階は、スポーツウェアとしてのアーカイブも展示しながら、イベントスペースとしても機能させ、最上階はVIPルームになっている。

外壁の煉瓦は、長手積みと小口積みの層を交互に繰り返す、伝統的な「イギリス積み」だが、表参道の雰囲気にも馴染むよう、三河安城の窯で焼いた、ダークチョコレート色の特注品を使用している。

所在地：渋谷区神宮前 5-9-6
 構造：RC造
 規模：地下1階 地上2階
 用途：店舗
 設計・監理：大堀伸 / ジェネラルデザイン
 施工担当：奥村
 竣工：2016年3月
 撮影：Stirling Elmendorf

(大堀伸氏 談)



①建物南側外観(夕景)。東側の接道通路は、今回2mセットバックさせ、植栽も施して、より洗練された街路に生まれ変わらせた②グランドフロア(地階)には、レギュラーラインの商品が展示されている。床はヘリンボーン模様のオークと人研ぎのモルタル③中2階はアーカイブスペースとして、過去のテニスウェアモデルや、アーティストとのコラボ作品などが展示されている。カウンターでは顧客に飲み物のサービスを行い、その奥には、ハイエンドなサウンドシステムを設置している。右手階段上の2階が顧客用ルーム。この2フロアの床は、ブランドアイテムでもある月桂樹を採用④1階。表参道側の入口から入ったところ。床はインドの砂岩。広々とした店内⑤グランドフロアのカウンター。バッグなどのアイテムも扱う。左手が裏原宿側の地下の入口⑥1階。ノコギリ屋根の上部から光が差し込む。ブランドアイコンの月桂樹の葉のオブジェはレジカウンターにもなっている。英国本国にも同様のオブジェがある

上原の家

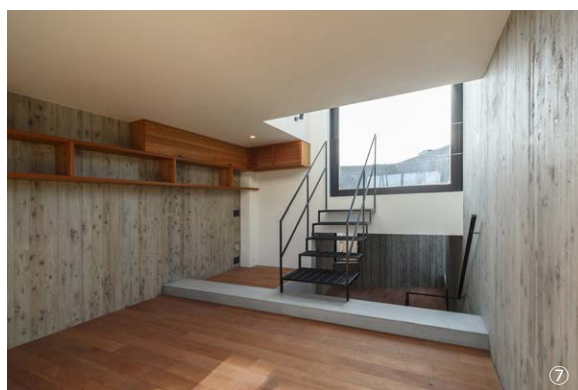
視線、採光、換気に配慮し、コンクリートらしさを活かす

クリエイターの夫妻の自宅である。杉板型枠のコンクリート打ち放しの壁面、そして、光と風を取り入れた過ごしやすい空間を建て主は希望された。温熱環境は、湿式外断熱システムのドイツの「アルセコ外断熱システム」を採用、湿気が多い日本の気候にマッチしている。壁の仕上げはコンクリート打ち放しを基本としているが、2階はさばく色の「天然向き左官材シリカライム」を左官仕上げで施し、温かみを加えている。南北に細長い敷地は、既に両サイドに住宅が建っていたが、奥には隣接する住居の庭があり、その南西側、そして前面道路の北側から、採光・通風を確保することができた。

まず北側の前面道路に面して駐車スペースを設け、キャンティレバーの1階に玄関、そして賃貸に利用できるスペースを奥に配置している。2階への階段を上ると、南側に大きなバスルーム、反対側が寝室となっている。3階はリビング、そして北側にステップを低くしたダイニングが見通しのよいひとつながりの空間を作っている。フロア中央の吹き抜けには角度を変えたスチール階段と片持ち階段を配置し、コンクリート打ち放しの壁面を活かしたデザインを生み出した。吹き抜けの上部となる4階はアトリエとして利用され、さらにそこから屋上へと続く。コンクリートの壁で囲まれた日当たりのよい空間は、大きな一枚扉で出られる「もう一つの部屋」といった感覚だ。

長方形の奥が少し三角形に飛び出た不定形な敷地いっぱいには作りこんだため生まれた三角形のスペースも、窓やトップライトなどで行き止まり感がないようにと工夫した。以前、辰で施工した「M邸 (ShinClub139)」で行った、抜け感を大事にした空間づくりを、今回も効果的に行うことができたと考えている。
(twigdesign / 枝松玲子氏 談)

所在地：渋谷区
構造：RC造
規模：地上4階 用途：専用住宅
設計・監理：枝松玲子 / twigdesign
施工担当：谷
竣工：2015年11月
撮影：アック東京



①全景②1階奥のフリースペース③2階バスルーム。仕切りを設けないオープンなつくりになっている④3階中央の吹き抜け部分。その向こうの一段低くなっているダイニングを臨む。階段はスチールプレート、コンクリート、グレーチングと部材を変化させている⑤3階キッチン。アメリカンブラックチェリーを使った制作家具。黒い石の天板や、床のタイルも落ち着いた色調でまとめられている⑥ガラスで仕切られた1階からの階段を上ったところが、居住スペースの入口。間接照明でシリカライムのベージュ色の壁が温かみを演出⑦4階アトリエスペースから、屋上方向を臨む。大きな一枚扉から、ふんだんに光が差し込む⑧屋上にはコンクリートのベンチが壁づたいに作られており、シャワーも取り付けられたプライベートスペースとなっている

「レトロビルのシェアオフィスとカフェが、
とても心地よい環境です」

今月、ご紹介した「上原の家」の設計者、枝松玲子さんは「フレッドペリーショップ東京」の設計者、大堀伸氏のお弟子さんです。今回は師弟（妹）で登場いただきました。そんな枝松氏が取材場所に指定したのは、本郷3丁目の「エチソウビル」に3月オープンした、「ファロコーヒー・アンド・ケータリング」というお店。

本郷通りと春日通りの交差点近くにあるこのビルは、昭和初期に建設されたもので、創業者の糸屋、越前屋惣兵衛から「エチソウビル」と名付けられました。戦後はテナントビルとして活用されています。

本郷通りに面した見逃してしまうような小さな入口から、せまい階段を上って引戸を開けると、思いのほか広いスペースが広がります。レトロ感あふれるカフェには、まず左側に、中が調理スペースになっている大きなカウンター。周囲はコンクリートむき出しの壁で囲まれ、高い天井、昔の小学校の校舎のような木の床が懐かしい雰囲気を醸し出します。書棚には洋書が並び、ギャラリー、ライブスペースとしても利用されるとのことです。

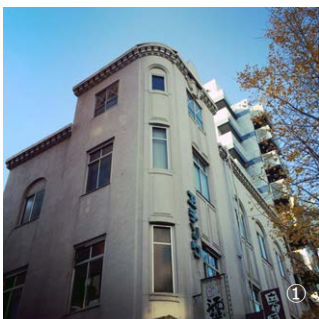
奥には、隣接するファロデザイン一級建築士事務所（カフェの改装設計担当、施工も一部セルフで行う）への扉があり、枝松さんは、別の場所でも仕事をされていますが、一部間借りしてこちらでも作業をしているとのこと。

カフェのオーナーも友人ということで、入居者の方たちとのコラボレーションが、今後も魅力的なお仕事を生み出していきそうです。



枝松玲子（えだまつ りょうこ）

1974年 静岡県生まれ
1997年 多摩美術大学美術学部建築科卒業
1998年 guesthouse 勤務
1999-2005年 ジェネラルデザイン勤務
2008年 twigdesign 一級建築士事務所設立



①エチソウビル
②Mビル（P3本文参照）
設計：梅村典孝／RAMME、枝松玲子／twigdesign .Shinclub139号掲載）
③枝松氏。ファロデザイン一級建築士事務所にて

「フレッドペリーショップ東京」が
「CASA Brutus」「商店建築」で紹介されました。



今月ご紹介した、「フレッドペリーショップ東京」が、「CASA Brutus 2016年6月号」と、「商店建築 2016年6月号」に掲載されました。どうぞご覧ください。

「(仮称) 野村ビル新築工事」
地鎮祭 2016年4月21日



日本橋の中心で、事務所ビル兼オーナー邸の建設に着手しました。

構造：S造
規模：地上6階
用途：事務所・住宅
設計・監理：E.N.N.
完成予定：2016年12月

「(仮称) 大門KUROGIビル新築工事」 地鎮祭
2016年5月13日



芝大門横、芝大神宮の前に、超有名料理店を新設します。

構造：S造
規模：地上6階
用途：店舗
設計：アーキベルク
完成予定：2016年12月

「(仮称) K邸 新築工事」 地鎮祭
2016年5月15日



元麻布の高台で住宅の工事に着手いたします。

構造：RC造
規模：地下1階、地上3階
用途：専用住宅
設計・監理：横堀建築設計事務所
完成予定：2017年3月

編集後記

・夏日が来たかと思えば、急に冷え込むこの時期は、体調を崩しがちです。上記の「ファロコーヒー・アンド・ケータリング」でいただいた自家製ジンジャー・ラテ。生姜の風味で、元気になります。

(株)辰通信 Vol.195 発行日 2016年6月10日 編集人：松村典子 発行人：森村和男
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450
E-mail: daihyo@esna.co.jp URL: http://www.esna.co.jp

「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。バックナンバーも掲載しています。
<http://www.esna.co.jp/shinclub>
スマホはこちらから →

